

R3 年度長岡京市市民活動応援補助金 採択事業紹介シート(市民協働スタートアップコース)

④ え〜ほん 絵の本ひろば ここやねん／「絵本ちゃんと一緒に絵の本ひろば」

団体紹介

“え〜ほん絵の本ひろば ここやねん”は、赤ちゃんから、おとなまで、年齢関係なく、高齢の方や、支援が必要な方も、必要が無い方も、だれもが参加してもらえる『絵の本ひろば』を地元で開催したいと考えて立ち上げました。

本との出会いには、年齢は関係ありません。絵の本ひろばには、赤ちゃんも、小学生も、おとなも誰でもが、夢中になれるおもしろくて、楽しくて、元気の出る絵本、写真集、料理本。文章が少ない、あるいは無い、だけど深〜いテーマがこめられている本を選書して表紙が見えるように並べています。

『絵の本ひろば』は、読み手と聞き手がいる読み聞かせとは違うスタイルで、《本って、面白い!!》を感じてもらえることを目的としています。参加した方が、表紙を見て、面白そうだなと思う本を自分で選んで楽しむ。ひとりで見ても良いし、だれかと一緒でも良い。最後まで、読まなくても良いし、途中で戻っても良い・・・読み手が主体的に、それぞれのやり方で本と関わることを大切に考えています。また、禁止や指示をしないで、安心してゆっくり過ごせる工夫をしながら、参加していただく方も、運営するスタッフも誰もが主体的に、関わり、本と出会える『絵の本ひろば』を運営しています。

採択事業紹介

昨年の 1 月 31 日に、『絵の本ひろば』とは、どういうものかを知ってもらう為に、“つくってみよう!楽しもう!加藤啓子さんの『絵の本ひろば』”を開催しました。参加していただいた方から、年齢問わずに参加できること、本を間に人と人が関わったことが楽しかった、初めて出会う本がたくさんあった、また開催して欲しいとの声がありました。

運営する上での課題として会場のレイアウトについて、また本の選書などができました。

今回は、絵本のセレクトショップ“絵本ちゃん”を運営されている谷文絵さんに講師としてきていただき、絵の本ひろばにある本の楽しみ方、絵本について思うこと等を、話してもらうことにしました。前回の課題を踏まえて、会場のレイアウトを考え、選書した本の補強も行いました。

開催した結果や今後の予定など

当日、子どもを含む家族での参加を中心に、大人のみの参加もあり、延べ 140 名の参加がありました。今回は申し込み不要としていたので、当日に会場付近を通りかかったの参加、講師の絵本ちゃんの話が聞きたいと、来られた方もいました。

それぞれが、気になる絵本を手にとって楽しんでられていた。自分で選んだ本を、誰かに読んでもらう面白さを、子どもだけでは無く、大人も体験してもらえたようです。

子どもが好きな本を知ることができた、知らない本に出会えて楽しかった、また絵の本ひろばを開催して欲しいとの感想があった。

車椅子で参加していただいた方がいたが、机の上に置いて本を楽しんでもらえるスペースが必要だった。今後は、いろいろな方に参加してもらえるように工夫していきたい。

感染予防として、見た本は、箱に入れてもらいスタッフが消毒しました。小さな子には、返す場所が子わかりやすかったと好評でした。本を消毒しながら、スタッフは感想を聞くことができたり、どんな本が読まれているか知ったりすることができました。

本の消毒には、京都市図書館でも使っていると聞いた日本酒メーカーの消毒液をスプレーして、タオルで拭き取りました。

参加者を把握するのに、受付を設置して、参加者名と代表の連絡先を記入してもらいました。また、出入り自由としていたので、会場内の人数をおおよそ把握してもらうようにしました。

考えられる感染予防対策をした上で、参加していただいた方々の協力もあって、開催後、2週間は、本当に心配していましたが、感染者の報告は無く、とりあえずは無事に開催できたと思います。

絵の本ひろばは、年齢関係なく、自分から本と出会える場所です。図書館に行けば、たくさん本があって、本が好きな人には宝の山だと思います。でも、本が苦手な人には、たくさん本の中から、探し出

すのは至難の業。そこで、選書して並んでいる本の中から、表紙を手がかりに自分で見つけた本が面白かったら、そこから、本の世界に入るきっかけになると考えます。

一冊の本との関わりは、千差万別です。知っている本でも、時間と場所、その時の気持ちで、目新しい出会いができることがあります。

『絵の本ひろば』はもっと、気楽にそれぞれの楽しみ方で、子どもだけで無く、本が苦手なおとなにとっても、本の世界への入り口になるのではと思います。

これまでの3年間の活動で、『絵の本ひろば』のことを少しは知ってもらえましたが、まだ子ども達だけへの活動とされています。今後は、年齢を問わず、いろいろな方に『絵の本ひろば』で、新しい本との出会いをして欲しいと考えています。

広い場所で無くても、本を楽しみたいという方がいるところへ、『絵の本ひろば』を提供していきたいと思っています。

